

学校だより



草花小「タートル」

令和5年3月1日

あきる野市立草花小学校

校長 芝田 智昭



3月号

巣立ちのとき たすきを受け取るとき

校長 芝田智昭

3月は巣立ちのときです。元の意味は、親鳥から食べ物をもらい庇護されてきたひなが、立派に成長し巣から飛び立っていく、というものでしょう。転じて、それまで培った力をもとに、新たな世界に旅立つ「卒業」を意味するようになったのかもしれませんが。

私が6年生と初めて会ったのは今年度の4月、春休み中の前日準備のときでした。一生懸命に体育館の掃除をする子、1年生の教室を丁寧に飾り付けする子、重い荷物を黙々と運ぶ子、すでに最上級生としての自覚と責任が表われているようでした。この子たちが6年生なら草花小は大丈夫だ、と安心したのを思い出します。

あれから1年、様々な行事で見せてくれたひたむきな姿、委員会やクラブでのリーダーシップ、全員が一丸となった力強い組体操など、6年生が率先して表現してくれた前向きな姿勢は、下級生のあこがれとなり目標となっています。こうしたことが今の草花小をつくっていると私は考えています。

先週の6年生を送る会の中で、在校生が工夫を凝らした様々な表現で感謝の気持ちを伝えました。そして卒業生はそれに応えるよう思いを込めた合唱でこれからの決意を表しました。送る会を中心になって運営した5年生は、最高学年になる覚悟がさらに強くなったように見えました。草花小の大黒柱となるたすきは5年生に託されました。

4月から高学年になる4年生も節目となる式がありました。先週実施した1/2成人式です。ほぼ全員が10歳となるこの時期に、保護者の方とともに成長を振り返り改めて感謝の気持ちを伝え、これからの生活を見つめ直す大切な式です。その中では、一人ひとりが将来の夢を堂々と述べ、一生懸命に練習してきた合唱と合奏を贈りました。そして、これまで育ててくれた感謝の思いを込めて記した手紙を手渡しました。普段はなかなか言えない「ありがとう。」「これからもよろしく。」などの言葉で会場が包まれ、とても素敵な時間になりました。家族の愛情を改めて実感した4年生、4月からは高学年として6年生とともに草花小を引っ張ってくれるに違いありません。

子どもが成長していく上で重要な意味を持つ「巣立ちのとき」と「たすきを受け取るとき」、教職員一同、今がそのときであることを自覚し、教育活動の充実に引き続き努めてまいります。



3月の行事予定



日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	水	おもいやりの日 集会 避難訓練 にじたま (1・3・5年)	15	水	集会
2	木	保護者会 (ふたば)	16	木	卒業式練習 (6年) A E T
3	金	図書室一斉返却日	17	金	卒業式練習 (6年)
4	土	PTA 実行委員会 学校をきれいにしよう	20	月	安全指導 給食終 午前授業 (1～4年) 卒業式予行
6	月	児童朝会 式場準備 (5年) 卒業式練習 (6年) コミュ指導終	21	火	春分の日
7	火	コミュ個人面談始	22	水	前日準備 (5年) 午前授業
8	水	集会	23	木	卒業式 (1～5年生は休業日) ※5年生代表児童が卒業式参加
9	木	A E T 多摩産材出前授業 (5年)			
13	月	卒業式練習 (6年)	24	金	修了式
14	火	卒業式練習 (6年) A E T	令和5年度始業式は、4月6日(木)		

ふたば移動教室



2月8日・9日に、ふたば学級が移動教室に行きました。家族と離れ、宿泊訓練です。

市ドッジボール大会



3年ぶりにあきる野市ドッジボール大会です。本校も2・3年生が参加し奮闘しました。

6年生を送る会

2月22日(水)、6年生を送る会が行われました。1時間目に1・2・ふ・5・6年生が、2時間目に3・4・5・6年生が体育館に集まりました。各学年工夫を凝らした発表で、6年生に感謝の気持ちを表現しました。5年生との長縄チャレンジでは、見事に6年生が逆転勝利! 6年生の力に驚きました。

